

防爆証明比較表 - 参考資料

		日本		フォックスフアリー 防爆型ヘッドライト	*1 日本基準に適合
		構造規格	技術基準		
対象		ガス・蒸気	ガス・蒸気	Class 1	○
		粉塵(d)	—	Class 2	○
		炭鉱防爆	炭鉱防爆	—	—
場所		0種場所	0種場所	Division 1	○
		1種場所	1種場所	Division 2	○
		2種場所	2種場所	Division 3	○
ガス 蒸気	爆発等級	1	IIA	Group D	○
		2	IIB	Group C	○
		3a(水素・水性ガス)	—	Group B	○
		3b(二硫化炭素)	—	—	—
		3c(アセチレン)	—	Group A	○
		3n(全て)	IIC	—	—
	発火度	G1	T1(450℃)	T1(450℃)	○
		G2	T2(300℃)	T2(300℃)	○
		G3	T3(200℃)	T3(200℃)	○
		G4	T4(135℃)	T4(135℃)	○
		G5	T5(100℃)	T5(100℃)	○
			T6(85℃)	T6(85℃)	○
環 境	温度	-10~40℃	-20~40℃	—	○
	標高	1000m以下	1000m以下	—	○
	湿度	45~85%RH	45~85%RH	—	○

2008.4.

*1 ○印が付いている項目は日本の構造規格及び技術基準に適合しています。特に一番厳しい0種場所、水素・アセチレンが存在する可能性のある環境、85℃以上になると発火の危険のある環境基準に適合。